

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	保健衛生の推進を図っているが、ごみ減量化や保健衛生のさらなる推進に向けた取り組みが必要となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健全な生活と保健衛生の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び加古川市保健衛生協議会の役員・保健衛生推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	保健衛生の推進を図るため、加古川市保健衛生協議会に対して運営補助金を交付することにより、当協議会の運営を支援する。また、スズメバチ駆除費に対する補助を行う。

【コスト】

		令和2年度（決算見込）
事業費合計		2,110 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,110 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費
細目	010 環境衛生事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	2,563 千円	2,151 千円	2,110 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>ごみ分別の徹底、ごみ減量の推進、ごみ集積場の環境衛生保持などの観点から、保健衛生協議会への補助は、今後も継続して行う必要があると考える。また、毎年スズメバチによる巣作りは多くみられ、市民ニーズが高いことから、駆除に要する費用補助を継続して実施する必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	環境衛生事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境政策課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
支部	地区	25	25	25
世帯数	世帯	0	106,451	107,637

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健衛生推進委員研修会開催回数	回	25	25	25
スズメバチ補助件数	件	40	79	84
活動指標分析結果	広域ごみ処理施設への移行に向けて、ごみ減量への取組を引き続き進める必要があり、推進委員や地区支部での研修会等を開催した。また、市民の生活環境の安全を確保することから、スズメバチの巣の駆除に対して補助を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
地区別研修会参加者数	人	560	539	330		560
全市研修会参加者数	人	350	350	0		410
スズメバチ駆除、被害数	件	40	79	84		0
成果指標分析結果	研修会への参加者数に変化は見られないが、目標人数に到達していないため、開催方法や周知に工夫が必要と考える。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	環境美化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する
施策	02 清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成16年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	地域での一斉清掃については、多数の地域団体が行っている。また、アダプトプログラムについては、個人で活動している場合に高齢化等による理由から活動を停止する事例がある。アダプトプログラム参加団体の安定した増加が課題。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の環境美化への意識向上
対象 ※誰、何に対して	市民・町内会・市内企業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	アダプトプログラム登録制度を実施し、活動団体を支援する。地域の清掃活動に対して支援を行い、美化活動推進の啓発を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	261千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	261千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	01 清掃総務費
細目	010 環境美化推進事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	639千円	254千円	261千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	町内会等の地域団体、市民ボランティア団体への支援により、地域コミュニティの活性化を図りながら美化活動への意識向上に貢献していると考えられる。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	環境美化啓発事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第1課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
単位町内会・自治会	町内会・自治会	320	321	320
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	263,954	262,647	261,324

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
町内会一斉清掃実施団体	団体	301	281	230
アダプトプログラム登録団体数	団体	35	33	38
活動指標分析結果	町内会一斉清掃実施団体に対しては、清掃活動への支援としてごみ袋の支給、ごみ鉢の貸出しを行っている。アダプトプログラムについては辞退団体数が減少し、普及啓発により参加団体数が増加傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
町内会一斉清掃回数	回	643	657	530	令和2年度	650
アダプトプログラム登録団体数	団体	35	33	38	令和2年度	50
成果指標分析結果	地域美化のPR等により、地域の美化意識の高揚に繋がり一斉清掃の実施回数が安定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため活動自粛により実施回数が減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和42年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及によりし尿収集登録世帯数は減少傾向にあるが、対象世帯の地域的縮小は進まず直営・委託とも収集効率が低下している。令和2年4月1日現在くみ取り登録件数5,302件のうち、委託3,147件、直営2,155件である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正（定例的・効率的）に収集・運搬することで、生活環境の保全及び公衆衛生の確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	し尿収集運搬業務委託区域において、し尿汲み取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿収集登録世帯のうち、し尿収集運搬業務委託区域におけるし尿収集・運搬を適正に実施する。

【コスト】

		令和2年度（決算見込）
事業費合計		79,154千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	79,154千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	005 し尿収集管理事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	79,617千円	83,426千円	79,154千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置が進むなか、し尿汲取り量は、直営、委託とも年々減少している。令和2年度実績は15,454KLで、うち委託分は9,936KLであった。元年度の委託分は10,498KLで、対前年度比5.4パーセント減少した。市全体として、汲取り便所から下水道や浄化槽への転換が進み、本市の水環境は向上している。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	し尿収集運搬業務委託事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
し尿収集登録世帯数	世帯	5,906	5,506	5,302
委託によるし尿収集世帯数	世帯	3,492	3,215	3,147

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
し尿収集運搬業務委託業者数	社	7	7	7
活動指標分析結果	平成27年10月から7業者に委託している。し尿汲取りは、便槽の数、容量、設置場所や狭路での進入路等、熟知しなければならぬ事項が多く、各業者に収集地区を割り振っている。内訳は、志方地区4社、旧加古川市地区3社である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
委託によるし尿収集量	K L	10,989	10,498	9,936	令和3年度	9,928
委託によるし尿収集件数	件	24,624	21,069	20,241	令和3年度	0
成果指標分析結果	公共下水道及び合併処理浄化槽の普及により、し尿収集量、件数は直営、委託とも減少傾向にある。業者には一般家庭のほか仮設トイレのし尿収集を委託しており、工事やイベント等のために一時的に設置するトイレの汲取りにも対応している。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	平成25年度～令和7年度
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市浄化槽設置整備事業補助金等交付要綱

【事業概要】

現状と課題	現行の補助制度が施行されて6年が経過しているため、目的である生活排水による公共水域の汚濁を防止し、早期に生活環境及び公衆衛生の向上に寄与することにどの程度寄与しているかの的確に分析する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進し、生活環境の改善と公共水域の水質保全を推進する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市生活排水処理計画での公共下水道、農業集落排水処理施設で排水処理することとされている区域以外の区域で、都市計画法に規定する工業専用地域以外の区域において、10人槽以下の浄化槽を設置しようとする者及び適正な維持管理を行った者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	設置する合併処理浄化槽の人槽に応じて5人槽77万円～10人槽125万円の補助金を、合併処理浄化槽設置にあたり単独処理浄化槽の撤去費補助6万円を、汲取りから合併処理浄化槽への改造工事は5万円、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への改造工事は2万5千円の助成金を交付する。その他、高度処理型浄化槽の設置の場合は上乗せ補助を設けている。また、維持管理費補助は2万円を交付する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	171,115千円	
財源内訳	国庫支出金	9,789千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	161,326千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	015 合併浄化槽設置補助事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	175,677千円	148,580千円	171,115千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公共下水道整備区域の見直しにより、平成27年度に設置補助事業の拡充と維持管理費補助事業の創設を行った。今後は補助事業の適正な執行のほか、広報、ホームページ、チラシ配布及び説明会等による市民や設置業者への積極的なPRも図り、法定検査受検率の向上にも努める必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	合併浄化槽設置補助事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
公共下水道・農業集落排水処理施設対象区域外人口	人	12,641	12,506	12,482

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
合併処理浄化槽設置補助申請件数	件	169	137	160
合併処理浄化槽維持管理費補助申請件数	件	1,038	1,159	1,263
活動指標分析結果	広報、各戸配付チラシ及び市から依頼した関係業者からの周知PRにより問合せも増加し、補助金制度の周知は図られていると考えるが、より推進していくためには新たな周知PRも必要になると考える。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
合併処理浄化槽設置補助交付件数（H25～R9累計）	件	879	1,016	1,176	令和5年度	1,686
生活排水処理率	%	94.9	95.1	95.4	令和5年度	99
法定検査受検率	%	74.9	75.8	75.7	令和5年度	79.5
成果指標分析結果	浄化槽処理区域内の設置状況は、平成25年から8年間で1,176基を設置済みである。また、生活排水処理率の令和2年度実績は95.4%で、今後も処理率は伸びていくと考える。法定検査受検率も向上している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	し尿収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	昭和34年度 ~ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	直営収集地域において6班体制で、常時6台稼働している。ほかに予備車として、狭路用の2トン車、故障時対応用の3トン車各1台を保有している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	家庭等から排出されるし尿を適正(計画的・効率的)に収集・運搬することで、生活環境の保全及び公衆衛生を確保を図る。
対象 ※誰、何に対して	直営区域において、し尿くみ取り便槽から排出されるし尿の収集運搬を必要とする者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市一般廃棄物処理基本計画に基づき、し尿収集登録世帯のうち、直営区域におけるし尿収集・運搬を適正に実施するために必要な車両を更新する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	7,386千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	5,500千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,886千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	06 し尿処理費
細目	020 し尿収集車両購入事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	7,343千円	7,618千円	7,386千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	今後も、効率的な直営し尿収集運搬体制を維持するため、年次的な更新計画に基づき、事業を継続していく。

事務事業名	し尿収集車両購入事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
し尿収集登録世帯数	世帯	5,906	5,506	5,302
直営担当し尿収集世帯数	世帯	2,414	2,291	2,155

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
し尿収集車両保有台数	台	9	9	8
活動指標分析結果	公共下水道や合併処理浄化槽の普及に伴い、直営担当し尿収集世帯は減少しているが、地域的観点からは密度が薄くなっており、面積的には狭まっていない。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
直営によるし尿収集量	KL	6,237	5,711	5,518	令和3年度	5,320
直営によるし尿収集件数	件	15,793	14,933	13,818	令和3年度	0
成果指標分析結果	公共下水道や合併処理浄化槽の普及に伴い、し尿収集量、件数は減少傾向にある。ただし、収集区域の面積は変わっていないので、車両1台あたりの走行距離はさほど減少していない。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	し尿終末処理施設整備事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【基本情報】

基本目標	03うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	02資源の循環と環境美化を推進する
施策	02清潔で美しい環境をつくる
事業実施期間	令和2年度～令和6年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

【事業概要】

現状と課題	尾上処理工場（し尿処理施設）は、稼働開始から50年以上経過し、施設の老朽化が著しく、早急に合理的かつ経済的な施設整備を実施する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公共下水道の整備に長期を要する区域について、合併処理浄化槽の区域に変更されたよにより、永続的に必要となったし尿処理施設の安定稼働を図る。
対象 ※誰、何に対して	尾上処理工場（し尿処理施設）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成30年度に策定した施設整備計画に基づき、既存施設の運転を継続しながら施設更新を実施する。令和2年度に生活環境影響調査を行い、令和3年度に整備運営事業者を選定し、令和4年度から令和6年度で施設更新を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	11,704千円	
財源内訳	国庫支出金	3,901千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	7,803千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	02 清掃費
目	07 し尿処理施設費
細目	015 し尿終末処理施設整備事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	0千円	0千円	11,704千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	現在の施設は老朽化が進んでおり、安定稼働のためには施設更新が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	し尿終末処理施設整備事業	部局名	環境部
		課(室)名	環境第2課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
尾上処理工場施設整備費	千円	0	0	11,704
活動指標分析結果	令和4年度から令和6年度に施設整備工事を行うため、施設整備費の増加が見込まれる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
し尿・浄化槽汚泥量	k l	35,643	34,784	34,807	令和4年度	38,418
成果指標分析結果	し尿・浄化槽汚泥量は減少傾向にあるが、合併処理浄化槽区域における浄化槽設置基数の増加により、浄化槽汚泥量の増加が予測される。					